

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

8月号の目次

- | | | | |
|------------|-------------|------------|----------|
| 1 マナーアップ | 2 特色ある取組 | 3 学校紹介 | 4 お知らせ |
| (1) 名取高校 | (1) 仙台向山高校 | (1) 蔵王高校 | (1) 柴田高校 |
| (2) 古川黎明高校 | (2) 宮城第一高校 | (2) 古川高校 | |
| | (3) 加美農業高校 | (3) 岩ヶ崎高校 | |
| | (4) 石巻好文館高校 | (4) 第二工業高校 | |
| | (5) 志津川高校 | (5) 迫桜高校 | |
| | | (6) 松山高校 | |
| | | (7) 古川工業高校 | |

1 マナーアップ

(1) 名取高校＜生徒会執行部 朝の挨拶運動＞

名取高校では、全校生徒の挨拶を活発化させるために朝の挨拶を行っています。これは、朝の20分間担当の生徒が昇降口に立ち、登校してくる生徒に挨拶をするというものです。実施頻度は、運動部がローテーションで月に2回、生徒会執行部が週に2回。挨拶運動の他にも、生徒会執行部が中心となって行うマナーアップ運動や、交通安全委員が中心となって行う自転車マナーアップ運動があります。このように、挨拶だけでなく交通安全マナーや正しい身だしなみの定着にも力を入れています。また、志教育の一環として地域の小・中学生と共に挨拶運動を行うという取組もあり、より地域社会との繋がりを意識した活動ができています。

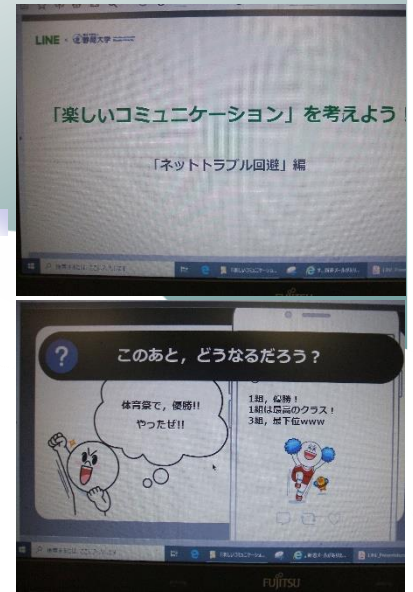


これらの取組を通して、挨拶がコミュニケーションツールの一つであることや、相手を尊重する気持ちを表すことができることに生徒が気づき、社会に出た時にそれらを活かすことができれば良いと思っています。

（２）古川黎明高校＜スマホマナーの向上のために＞

今年度は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業の長期化により、家庭学習など家庭での生活時間が増えた上半期でもありました。例年、始業式後に開催している「ネット被害防止講演会」も中止せざるを得ませんでした。テレビや新聞等では、このコロナ禍で起きているネットによる誹謗中傷や根拠のない噂の拡散、本来ならば会えるはずの友人に会えないストレスを投稿したり、新1年生は高校生活の不安や学習の遅れの心配をつぶやいたり…という時期が続きました。そのような不安や心配につけ込んだ悪徳業者や見ず知らずの人物からのメールなどもあったと聞いています。本校で講演会を依頼していたLINE 株式会社様から「講演会に代わる教材を」ということでスライドを提供していただきました。オンライン学習で導入している「ロイロノートスクール」でこのスライドを全生徒に配信し、ネットトラブルの回避を学び、コロナ禍であろうがなかろうが「ダメなことはダメ」「誹謗中傷やいじめは人権侵害にあたる」ことを自覚したことと思います。実際、事後アンケート（office365 Forms で回答）では、95%の生徒が「ためになった」「SNS の使い方に気をつけようと思った」「何度もスライドを見返すことができるので理解が深まった」という感想を述べていました。

LINE 株式会社様の担当者の皆様には感謝すると同時に、高校生の SNS 利用におけるモラル・マナーの向上に努めなければならないことを実感しました。



ロイロノートで配信したスライド

< 学校のホームページはこちらです >
<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

（１）仙台向山高校＜理数科巡検＞

本校の理数科は、自然科学分野の学習を深めていくことが学科の特徴ですが、そのためにはさまざまな体験、経験が大切です。理数科の1年生では分野ごとの野外巡検が豊富に用意されています。例年生物分野として、東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターでフィールドワークを行っています。午前には各班に分かれ、有機栽培と化学肥料を用いた栽培（慣行栽培）による稲の成長及び水田の生態系について調査し、午後は収集したデータの分析を行い、その結果から異なる環境での稲作への影響について考えます。また、本校卒業生から大学生活や研究について話を聞く機会もあります。



上記のほか、化学分野では東北大学金属材料研究所への研究所訪問、地学分野では11月に泉区焼河原周辺巡検、物理分野では1月に仙台市天文台における学習も用意されており、学校では学べないスケールの大きな体験学習を行うことができます。いずれの活動も、生徒たちの中にある興味関心を引き出し、自然科学のセンスを磨く貴重な時間となるばかりでなく、2年生で行う「課題研究」につながる大きな学びとなっています。

皆さんも、仙台向山高校理数科で充実した学習をしてみませんか？

< 学校のホームページはこちらです >
<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

（２）宮城第一高校＜国際交流事業が盛りだくさん！＞

本校では「魅力ある学校づくり」の一環として、他国の文化に対する理解とそれを尊重する態度の育成を目指した国際交流に大いに力を入れています。創立120周年事業の一環として、イギリス・ロンドンにあるシティ・オブ・ロンドン・フリーメンズ・スクールと姉妹校締結を行い、2018年には9名の生徒が英国を訪問して相手校の高校生と交流を深めながら大いに視野を広げる体験を重ねてきました。昨年はオーストラリアのEpping Boys High Schoolより36名の生徒が来校し、ホームステイの受け入れも含めた交流事業を盛大に行いました。さらに、校内でも「COSMO Academy」と称して、希望者を募って東北大学の留学生の方と異文化理解を深める楽しい活動を例年複数回行っていきます。今年8月にはトルコ在住の学生の方とオンラインでの交流・文化紹介を行い、多くの生徒が参加して英語で積極的に質疑応答をしていました。宮城一高には、このように視野を広げ国際理解を深めるチャンスが数多くあります。国際社会の平和と発展に主体的に貢献できるグローバルな人材の育成を目指して、生徒自身の体験を重視した国際交流をこれからも推進していきます。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

（３）加美農業高校＜農産物販売＞

本校では、野菜や果物、花などの農作物を実際に生徒たちの手で育てるとともに、生産した農作物の販売も行っています。

校内で定期的に販売会を開催しています。

写真は、校内での販売会の模様です。各班に分かれて、草花や野菜などを生徒自ら販売します。昨年度は、加美町中新田の商店街で開催される花楽市（からくいち）等で農産物販売を行いました。

販売実習は、本校で生産している作物の現状を広く知ってもらうことや、地域との交流、生徒のコミュニケーション能力の育成を目的としています。生徒たちはお客様への商品の説明や対応の仕方など、接客や農場経営について体験を通して学んでいます。

本校の先生たちも、生徒たちが育てた美味しい果物や野菜などを購入しながら仕事に励んでいます。人気のある果物や野菜はすぐに売り切れになってしまいます。

農場のブログでは、農場の様子や農産物販売会の情報を発信しています。ぜひご覧になってください。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(4) 石巻好文館高校

<総合的な探究の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～>

石巻好文館高校では、

その校是 『甲斐ある人と言われなむ』

(真心をもって 世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する)

を実現するために、総合的な探究の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ」と銘打ち、様々な取組を行っています。

主な活動として、1年次では自己理解、2年次では課題研究に取り組んでいます。今年度は2年次の課題研究の準備段階として、石巻専修大学の教授から「研究とは」と題して、研究活動を行う上での基本的な心構えや具体的な取組手法を教授していただきました。

新型コロナ感染拡大防止のため、大学側の全面協力を得て、2年生5クラスがオンラインで講話を受けました。オンラインを通じた双方向型の講話を実現することができ、生徒たちにとっても新形態の教育活動を体験することができました。

石巻好文館高校では、生徒のニーズにタイムリーに向き合うことで、実り多い総合的な探究の時間を目指し、日々改善を重ねているところです。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(5) 志津川高校<自然科学部 「ダーウィンが来た！」>

前人未到の秘境から身近な街の中まで、世界中の生きものたちに密着し、驚きと感動の物語を紹介する、NHK 自然番組「ダーウィンが来た！」(毎週日曜夜 7時半から放送)。来年3月11日に震災10年を迎える三陸の沿岸域で、自然環境やそこに暮らす生きものたちはどう変化し、どう今を生活しているのかを描く番組に、自然科学部が4年前から調査を続けている松原干潟の生物調査の様子が放送予定です。

この干潟は東日本大震災の津波によって防潮堤が壊され、公園だった場所に形成されました。巨大防潮堤により埋め立てられる予定でしたが、地元の住民団体が自然と親しむ場として保存を要望し、県の防潮堤工事は干潟を埋め立てずに残すなど配慮した形で行われています。現在、導流堤工事が行われ、干潟環境が大きく変化している4年目の今年は、過去最多の生物が見つかり、海辺の自然の豊かさを実感しています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 蔵王高校<蔵王から未来へ>

本校は普通科高校としては県内で最も規模の小さな学校です。そのため、生徒と教員の距離が近く、個に応じた学習が充実しています。習熟度別学習の推進、ティーム・ティーチング授業の実践、全教室に設置されたプロジェクターをはじめとしたICT機器の利活用など、「わかる授業」の創造を目指した工夫に取り組んでいます。

また、生徒同士がテーマに沿ってリラックスして対話する「p4c」という活動や、地域貢献について3年を通して考えを深める「ZAP（蔵王あすなるプロジェクト）」、1年生から3年生まで毎週1時間、少しずつ進路についての考えを深めていく「蔵王タイム」など、地域や社会から必要とされる人材の育成を目指した取組を行っています。

それぞれの進路に応じた個別の科目選択も豊富に用意されており、生徒一人一人がそれぞれの個性を輝かせることのできる環境が用意されています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 古川高校<古高 夏の陣>

今年度の古川高校の夏休みは8月1日から8月17日までの17日間。古高生は、例年より短くなった夏休み中に、勉強に、部活動に充実した毎日過ごします。

1年生は例年、休みに入るとすぐに学習合宿が始まり、東北大学のオープンキャンパスに全員で参加し、各自が関心を持っている学部を見学する予定でしたが、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大により中止となってしまいました。それに代わり、学年の企画による3日間の課外講習が実施されました。

2学年では、夏休み中に開催されるオンラインでのオープンキャンパスへの参加を推奨しました。また、例年実施されている難関大学突破のための七校合同合宿（気仙沼高校、佐沼高校、石巻高校、古川高校、古川黎明高校、白石高校、築館高校）が中止となりましたが、難関大学への進学希望者を対象とした指導を本格的に開始しました。

3年生は入試に向けて勝負の時を過ごしています。7月28日から8月7日まで（7月28日～31日までは午後のみ）、夏期講習が実施されました。一日90分×5コマ（8：20～16：50）の設定です。冷房施設のある講義室（4教室、収容人員は合計180名）をフルに活用し、35℃を超える猛暑下においても、快適に講習に集中することができます。また、古川高校には、個別に仕切られた学習スペース80席が生徒会館（蛭雪会館）2階に設置されており、冷房の効いた室内で、朝早くから夕方6時半の下校時まで多くの生徒が学習に励んでいます。

1・2年生は、学習のみならず部活動にも熱心に取り組み、まさに文武両道を体現する、そして3年生は、各自が目標の進路に向けて努力する、“熱い”夏を過ごしています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(3) 岩ヶ崎高校

<栗っ子ティーチャー・C-PLAN・栗原市役所岩高支所>

地域の皆様のご協力のもと、岩ヶ崎高校で実施している様々な取組を紹介します。

1. 栗っこティーチャー（本校1・2年生）

本校生徒が、地域の各小学校のサマースクールで学習のサポートをするという活動です。模範となる行動をすることは勿論、広い視野を持つことの大切さ、自身が今後学ぶべきことへの気づき等、様々なことを学ぶことができます。残念ながら、今年度は中止となりました。



2. C-PLAN（小学校への高校生教育助手派遣プログラム・本校3年生）

教員等を目指す本校生徒が、地域の各小学校の授業補助に入る活動です。掃除、集会活動、放課後活動等を通して小学生とふれ合うことで、将来の夢に向け学ぶべきことに気づき、決意を新たにすることができます。



3. 栗原市役所岩高支所（本校2年生）

地域の課題についてフィールドワークを交えながら調べ、解決のアイデアを協議します。発表会では市役所の方をお招きし、課題解決案を提示します。地域を活性化させるには？よりよい社会にするには？等、様々な角度から考えることができる探究活動です。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(4) 第二工業高校<資格取得を目指して～特別学習期間>

本校は、県内唯一の単独の定時制工業高校です。多くの生徒がアルバイト等の後に登校し、働きながら学んでいます。現在の生徒数は4学年43名で、教師が生徒一人一人に丁寧に対応するアットホームな環境で楽しく学習しています。



特に各種資格や検定の取得に力を入れており、例年8日間の「特別学習期間」を設け、特別な講座を開設しています。今年度は8月下旬に、「ガス溶接」「アーク溶接」「危険物取扱者」「パソコン検定」「第二種電気工事士」「第三種電気主任技術者」等の講座を実施する予定です。例えば、電気科の生徒は「電気工事士養成講座」を受講し、外部講師を招いて4日間（計16時間）にわたって実技指導をしていただきます。内容としては、屋内配線工事作業における器具や電線、金属管の扱い方など、実践的な技術を学びます。日常の授業や実習に加えて、この講座でさらに技術を磨いて、多くの生徒が資格取得を果たしています。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://m2k.myswan.ed.jp/>

(5) 迫桜高校<教育課程の特色>

130以上の開設科目の中から、生徒が自分の科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。ただ好きな科目を選ぶということではなく、科目選択のためには、自分の進路を考えなければいけません。総合学科ではそのために「産業社会と人間」という教科を1年次で学習し、まず進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習、職業講話、ライフプランニング等を通して自分の将来についていろいろな角度から見つめる教科です。



生徒が科目選択を考える材料として、本校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は人文国際、自然科学、福祉教養、情報科学、エンジニアリング、アグリビジネスの6つです。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。

写真は6月に行われた、系列ごとの体験授業の様子です。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(6) 松山高校<小規模校の挑戦>

松山高校は普通科1クラス・家政科1クラス、計6クラスの小規模校です。全校生徒も175名と他校の1学年分の人数で構成されています。

小規模校であることを強みとして様々な取組が行われています。

1) 全校LHRの実施

新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催している運動会が中止となりました。その代替として、7月10日に感染防止対策を考えながら、全校LHRを実施しました。内容は校内クイズ大会と宝探しです。体育大会実行委員が作成した松高クイズを全校生徒で解いてクリアを目指すというものです。クイズは12パターン用意されているので、周囲とも問題が異なります。解いている中で他学年の生徒と問題が同じ!というケースがあるため、学年関係なく協力して取り組む様子がありました。また、クイズの他に自分の名前入りの宝を見つけなければゴールとならず、それを探するのに苦労していました。全員のゴールタイムが短いクラスが優勝となるため、最終的にはクラスメイトの宝を他者が探し教えあうという様子も見られました。

感染症の影響で、全校生徒として活動することは難しいですが、それぞれが笑顔で取り組めたことが非常に良かったです。

2) 『まつやマスク』の作成

感染症対策のため、家政科の総力を結集し『まつやマスク』の作成に取り組んでいます。でき上がったマスクは周辺の施設へ贈呈し、大変重宝されています!

3) ほっこりカフェ営業中!

今年も「ほっこりカフェ」がオープンしました。松山高校では、月に1回放課後の図書館にハートフルなカフェがオープンします。誰でも参加できて、好きな飲み物とおやつをお供に、楽しい時間を過ごします。友だちとおしゃべりする人、ジェンガやオセロを楽しむ人、本を読む人など過ごし方は自由★



オープン
キャンパス

9/5
(土)

令和2年度のオープンキャンパスを、
9月5日(土)に行います。
中学3年生のみならず、ぜひご参加ください!
※詳しい日程や申し込み方法は、中学校へお送りする案内をご覧ください。

○その他の紹介

< 学校のホームページはこちらです >
<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

〈7〉古川工業高校〈卒業生の活躍について〉

本校の部活動は、とても盛んに行われています。昨年度、全国大会へ出場した部活動は、陸上競技部、自転車競技部、スキー部、柔道部、バレーボール部、ラグビー部、機械研究部、ダンス部で、文化部・運動部ともに切磋琢磨し、高みを目指しています。これまでの多くの卒業生の中から、現在、日本で活躍する先輩を2名紹介します。また、新型コロナウイルス感染症により、大会が無くなった中高生に向けての一言も合わせて紹介します。

一人目は、バレーボールの東レ所属、藤井直伸先輩です。藤井選手は、本校卒業後、順天堂大学を経て、東レに入社しました。社会人3年目に、その能力が開花し、日本代表に選出され、司令塔であるセッターとして活躍しています。アジア選手権も優勝し、東京五輪でもメダル獲得が期待されるどころです。



【藤井選手から】

「今を必死に生きていて、目の前から目標や目指すものが無くなるのはとても辛いと思います。しかし、そんな思いをしているのは、自分だけじゃありません。たくさんの方が今の時代を、いろんな思いを抱えながら生きています。簡単に切り替えることは難しいと思いますが、今しかできないことや新たな目標を自分で決めて頑張りましょう。僕も目標にしていた東京五輪が延期になり、開催できるかも分からない状況ですが、毎日頑張っています。時間は無限ではありません。今を大切に。共に頑張りましょう。」

二人目は、陸上競技の帝京大学3年生、遠藤大地先輩です。遠藤選手は、本校3年生のインターハイ 5,000mでの走りが評価され、帝京大学に進学しました。大学1年生からあの箱根駅伝を経験し、今年の正月には3区で区間新記録を塗り替える快挙を成し遂げました。学生日本代表にも選出され、オランダでロードレースを経験しています。

【遠藤選手から】

「大変な時期が続いていますが、これまでの努力と今の我慢は絶対無駄にはならないので、心を強く乗り越えていきましょう！」

今年度は大会及び発表会の中止が続いていますが、7月下旬から県総体代替大会が各種目で開催されています。活躍の様子はホームページ等で紹介したいと思います。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

4 お知らせ

(1) 柴田高校

< 体育科オープンキャンパス 10月3日(土) 部活動体験 >

●オープンキャンパス

10月3日(土)に体育科オープンキャンパスを開催します。当日は、体育科に関する説明会と部活動体験を予定しています。インターハイ・全国大会等にて数々の実績を残してきた、柴田高校伝統の体育科強化指定競技の部活動を体験できる貴重なチャンスです。先輩方が優しく指導してくれますので、少しでも興味があれば実際に体験してみましょ。百聞は一見にしかず、中学生のみなさん、ぜひ柴田高校に足を運んで、柴田高校の雰囲気を感じてみてください。

強化指定競技：陸上競技，剣道，硬式野球，柔道，ウエイトリフティング，
体操，水球・水泳
(大会日程・天候等により変更の可能性があります)

みなさんも柴田高校で夢を実現してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://sibata.myswan.ed.jp/>